

(仮称)中根・金田台地区小学校開校に関する保護者説明会での質疑応答

I 日時：令和6年(2024年)5月25日 10時～

会場：九重小学校

	ご意見・ご質問	回答
I	新設校開校時に5年生だと新設校に通わなくては いけないのでしょうか。	新設校開校年度で小学校6年生であれば、既存の学校のまま、卒業まで在籍で きるようなことで考えています。他の学校新設の際にもそのように学区外就学の 基準を定めてきました。それ以外の学年の方については原則、新設校に通うこと になります。
2-1	仲の良い友達がおり、学校に行きたくないという時期 ありましたが、その子がいるから通えていたということ もありました。ただ、先ほどの学区外の回答で、原則は 転校となると、友達と別れるということを意味します。 子どもたちにとってはいきなり、よくわからない事情で あの子はあっちの学校、あの子はあっちの学校という風 に別れさせることはおかしいと思いますので、そのあた りは柔軟に対応していただかないと、子どもの人生を大 人の都合でかき回すことになると思います。また、兄弟 がいた場合に、兄弟が別の学校になる可能性もあるの で、移行期間を設けてほしい。それがあれば、先ほどの 問題も解決するはずなので、柔軟に対応してほしいで す。	基本的には指定の学校に通学することになります。ただし、学区外就学の基準 を設けていますので、申請いただければ学区外の基準に沿った形で、個別に審査 することになります。
2-2	友達と別れてしまうからという理由で同じ学校へ通	現状の学区外就学の基準でお話ししますと、まず、兄弟がいらっしゃる場合に

	うことや、兄弟だからという理由で6年間、九重小学校へ通うことはできるということは大丈夫という認識でよろしいですか。	は、兄弟在籍の理由ということで下のお子様も卒業まで同じ学校へ在籍できる基準になっています。 上に在籍の兄弟がおらず、開校時点で4年生、5年生のお子様の場合に、九重小学校へ残りたいという方につきましては、お子様、保護者様の状況を聞き取りして、学校にも聞き取りをして、教育的配慮という広いなかで、どの程度対応できるかということになります。現状として残れます・残れませんということを申し上げることはできないところではありますが、申請いただいたうえで審査させていただきます。
2-3	その場合の基準というのは誰が判断しているんですか。そういった不確実な中で申請をしないといけないんですか。今、白黒はっきりしないと皆さん不安だと思います。九重小学校は2学級から1学級になるとご説明いただきましたが、今の2学級を1学級に減らすというのは子どもにとっても不利益になります。なぜ1学級に減らす必要があるんでしょうか。	経緯としまして、中根・金田台地区の人口が増えている現状で、それぞれの学校施設のキャパシティでこれ以上、受け入れるのは難しいということで、令和8年度を目指して学校が新設されるということがスタートとなっています。その中で、通学区域をどうするかという話し合いにおいて流星台などが新設校の学区となることで、結果として九重小学校が2クラスあるところが1クラスになってしまいうところでは。 学区外就学について、現状で皆様を通学可能にしますという発言はできないところではございます。いただいたご意見は持ち替えらせていただきますが、本日は現状の学区外就学の基準以上のことについてお話できないというところで留めさせていただきます。
2-4	移行することで2学級から1学級になるのは子どもにとっての不利益になるので、そういったことがあってはいけないと思います。なるべくそういった不利益をなくしてスムーズに移行しないと子どもたちや先生たちの負担が増えてしまうと思いますし、2学級を残せば解	ご意見ありがとうございます。

	決することなのに、予算であるとかお金で解決できることなので、子どもたちの教育の質っていうのはお金では買えないものだと思うので、そのあたりは検討してもらいたいです。	
3-1	スケジュールの中で通学区域の決定というところがありました。通学路の整備について検討していることはありますか。今現在、危険な箇所も多いのでお伺いします。	通学路に想定される道路の安全につきましては、児童の安全確保を第一に考えて、道路関係各課、また警察等も交えて、事前に状況確認や対策、検討の方を行っていきたいと考えています。また、先ほどスケジュールの中でお話しした開校準備委員会の中でも学校関係者や保護者の皆様のご意見を聞きながら、通学路の検討、安全対策を進めていければと考えています。
3-2	開校時期までにはある程度、整備されているという認識でよろしいでしょうか。	今後、どこを通学路とすることが適切かということを開校準備委員会の中で進めていきます。当然そういった中でここは整備すべきということがあれば、それぞれ管理する、警察や道路管理の課などに改善の要望をして、通学路の安全確保を進めていければと考えています。
4	現在栗原小学校に通っている子については理由を問わず申請をすれば新設校へ入れるということでしょうか。	栗原小学校については、小規模校が予想されるため、小規模校に通学することに不安があるとか、そういった場合には近隣の学校に就学を認めるような方向での検討をしていきたいと考えております。正式には、学区外の許可基準の見直し後となりますが、見直しの際にはこの方針で進めていきたいと考えています。
5	栗原小学校について、アンケートなども取った中である程度の人数が確保できれば栗原小学校へ通いたいという声もあったんですが、新設校の学区になっている子も申請すれば栗原小学校へ残れるのでしょうか。	学区としては新設校になりますが、栗原小学校は小規模特認校になるので、市内のどこからでも希望すれば通えるようになります。春風台にいらっしゃる方で栗原小学校に行きたいということであれば、通学できると考えております。
6	6年生だと、あと1年で卒業なので栗原小学校へ残りたいが今のままでいくと6人くらいしか残らないから、	小規模特認校となった場合、市内の方であれば学区外就学できるようになるので、4月直前まで人数が増減するものと考えており、はっきりした人数とはいき

	それならば新設校に、となる。皆さんが残るのであれば残ろうかなとも考えているのですが、その申請の時期に栗原小学校に残る６年生が何人です、というのはお知らせしてもらえるのでしょうか。	ませんが、ある時点でのある程度の人数であればお伝えできると考えております。
7-1	中学校が北側の空き地にできるということをお聞きしていますが、いつ頃にできる予定でしょうか。	敷地北側に桜中学校の移転用地として確保しておりますので、将来的にはこちらへの中学校移転を想定しております。その移転時期につきましては建物の老朽化、生徒増、それぞれの状況を注視しながら決めていくところであり、今のところ、何年度に移転というのは決まっていません。
7-2	完成予定の資料を見ると全校生徒で700人くらいだと先生たち全体で80人くらいだと思いますが、そうなったときに授業参観などの時に、駐車場が足りなくならないのでしょうか。	施設全体での駐車場の数は約120台で用意させていただいていますが、通常一般の方がお使いになるのは50台程度です。既存の学校も同じですが、運動会や、PTAで集まるときの駐車場というのは、申し訳ないんですけどそれを満足させるような駐車場の整備は難しいです。ただ120台分のスペースはありますので学校の運用の中でお使いいただければと考えております。
8-1	イエナプランの理念を取り入れるとありましたが、既に実践されている学校では成果がでているのか。また、イエナの理念を取り入れる教育をするにあたって、配属する先生はこの理念をよく理解している先生でないと機能しなくなるのではと思いますが、そういった先生は配属されるのでしょうか。	1点目について回答いたします。谷田部南小学校を例にご説明しますが、谷田部南小学校は全体で60名程度おります。他にも市内では100名程度の小規模校が5校ありまして、その5校については推移として減少していくということでプロジェクトを組んでいます。谷田部南小学校の場合、イエナの理念を取り入れ異学年交流をベースに集団を組んだりしています。小規模校の特性として、九重小学校も縦割り等はやられているかとは思いますが、たくさんのグループを作って、その小集団で目的を持って異学年交流を図り、密度の濃い友人関係を築くなど、良い効果を上げているという声を聞いています。また異学年でのサークル対話、朝の会、帰りの会、掃除など、様々なところで小規模校の対人関係を補う異学年交流を取り入れていければと考えております。あとはワールドオリエンテー

		ション、活きた素材、これは地域の方、専門の方、地域に出かけて行って協働して、本物に触れる学びですが、それも子どもたちには効果的で、地域の方からも学校と一緒に子どもたちを教育できるとかなり好意的な声をいただいております。 子どもたちが市の大綱で目指す自律的な学習のところですが、異学年交流の中で一つ例をあげますと、実際に自分たちで話し合って学校づくりをしていくということが具現化しやすいという特徴があります。例えば行事を考えるときにも異学年の中で、地域の人も巻き込んで先生方と一緒に協働して、こういう秋のお祭りを開こうとか、中庭ランチを計画しようとか、実際に子どもたちの発案を色々な英知をいただきながら、一つの形として、あたかも子どもたちが自分たちでやり遂げたよう感じてもらう。ですから理念だけではなくてそれを広げていく中で、保護者の方や地域の方や、または教職員も一体となって同じ方向で今、成果をあげられていると認識しています。 一方で、栗原小学校でイエナの理念を理解している教員がどれくらいかということですが、それはこれからの課題にもなっていきます。小規模校プロジェクトでそういったイメージを持てる教員を育てていくというのが一つの方向性です。といっても栗原小学校でもイエナプランの学校にするわけではなく、イエナプランの理念をしっかりと持った教育を行うことになります。探究的な学習等は市内全体でも進めていますし、一つの単元を大きくとらえた自由進度、お子さんが学びを自分でデザインしてやっていく。そうしたところも市内全体で進めているところです。そういった形で、市内の全教職員が栗原小学校へ配属されたとしても問題ないように進めております。
8-2	つくば市全体でそういう方向に進んでいくというの	我々にとってはたいへん有効で効果をあげていると認識しています。あとは小

	はわかりました。つくばの、他の小学校でもこういったイエナの理念に沿った教育が進んでいくということによってよろしいでしょうか。	規模校だからこそイエナがうまく機能している実証がありますが、これが様々な学校、1000人を超える学校もあるので、そこに当てはまるかということ、それについては十分な検討と、実証をしていく必要性はあるかと思っています。ですが、市内の教育研修会の中では谷田部南小学校のイエナの理念を取り入れた教育の実践発表をすると、どの学校もたいへん興味を持って、自分の学校であれば、どの部分が取り入れられるのか真剣に議論が交わされております。方向性としては学校の実情に合わせて取り入れられるものはどんどん進めていくという方向ではあると思います。
8-3	うまくいっているというのは誰にアンケート取ったり聞いたりしているのでしょうか。現場の先生ではうまくいっていないとはなかなか言えないと思うので、保護者とかそういった人たちの声を聞かないとちゃんとしたデータが集まらないんじゃないかと思いますので、保護者向けのアンケートとかしたほうがいいじゃないかと思います。	ご意見ありがとうございます。
9	栗原小学校へ移れるのは1年生の時だけでしょうか。それとも3、4年生からでも移れるのでしょうか。また小規模校の、複数の学年を1つの学級にしている学校とそうでない学校とでは学習内容の進行度は変わってくるのでしょうか。教える内容を簡略化したりということがあるのでしょうか。	栗原小学校への学区外申請は1年生の時に限定しているわけではなく、小規模特認校になるので栗原小学校へ就学を希望した時点で申請いただければ、基本的には就学が認められるものと現段階では考えております。 学習内容について、原則として国の学習指導要領に沿って進めておりますので、各学年の学習内容に変更はございません。ただ、例えば技能教科系で言いますと体育などは同じような単元で力量によって一緒にやれるというときは合同でやったりすることはあります。目指すところは各学年によって決まってくるので、そこは他校と同じになります。

10-1	現在、子どもが九重小学校で九重児童館を利用して いるんですが、新しい学校には公設公営の児童館はで きるんでしょうか。	今回、新設校に公営の児童クラブの開設予定はないということをごども部の方から伺っています。
10-2	新設校に通っても九重児童館は引き続き利用できる んでしょうか。	基本的に新設校に通学しても九重児童館の利用は可能だと聞いていますが、 かなりの距離があると思います。
10-3	新設校から児童館までの送迎はありますか。	送迎はないと思います。就学に関しては、放課後保育を理由とした学区外就 学の許可要件もありますので、放課後保育を理由に九重小へ就学することは可 能です。
11	新しい学校へ行く場合には九重児童館ではなく、他 に児童館を見つけなくてはいけないということでは しょうか。	児童クラブとしてはそのような方向になると思います。
12-1	先ほどの回答だと納得していない方が多いと思う んですが、そうすると今度どうやって放課後保育を対 応すればいいのか悩む人も多いと思うんですが、その 辺は市の方で検討していただけないでしょうか。	こども部の方から聞いている状況としては先ほどお伝えした通りですが、こ れからの検討についてはいただいたご意見を持ち帰りまして、こども部の方に きちんと伝えまして、検討できるかどうかということも含めて確認してまいり ます。
12-2	児童館のために小学校を変えるというのは話が違 うと思います。子どもたちも納得できるような対応を していただきたいのでよろしくお願いいたします。	今聞いているのは民営の児童クラブを優先的に使っていただきたいというこ とは聞いてはいるんですが、それも含めていただいた意見を伝えてまいります のでよろしくお願いいたします。
13	自分としては新設の学校ができたということは当 然、児童館もできるという認識でした。九重児童館を 使うなら九重小学校に通えばいいでは話がおかしいと 思います。学校新設するってことは子どもの人数が増	先ほどのお話でもそうですが、いただいたご意見につきましてはこども部の方 と共有して、今後、市として検討してまいります。新設のご意見も含めて伝 えさせていただきます。

	えることは大前提でもある中、当然、児童館を新設するものと考えていましたので、児童館を新設することは強く要望します。	
--	--	--

2 日時：令和6年(2024年)5月25日14時30分～

会場：栄小学校

	ご意見・ご質問	回答
1	新設校について先生方は既存の3校から配置されるのでしょうか。それとも新たに新しい先生が配置されるのでしょうか。 また、今、九重小学校の隣に児童館があって利用させてもらっているんですが、新しくできる学校の近くに、児童館というか子どもを預けられる施設はできるのかどうか教えていただければと思います。	教員の異動については、これまでの市内の新設校開校の例でいきますと、新設校に移る児童の人数に応じて、当然関係性があるかと思いますので、分離元の学校からも教員が配置されるかと思います。 公設の児童クラブについては、本日こども部のものがおりませんが、現時点で公営の児童クラブの開設は予定していないと伺っております。
2-1	これまでの説明会などで質問について、どういった結論になったかというのをホームページ上で資料を公開していただけないでしょうか。 また、以前から出ていた道路の問題についてはどうなりましたでしょうか。 最後に桜中学校の移転について、時期や計画はきまっているのでしょうか。	学校の建設予定地の西側の道路については、道路用地と公園用地を活用して歩道を整備するということで計画がすすんでおります。歩道に合わせてガードレールも設置を計画していることを、道路の担当課からお聞きしております。 また、説明会からの相違点であるとか、最終的にはこうなりますということ、改めてホームページ上で公開していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。 桜中学校については老朽化や生徒増の状況を注視しながら決定していくとこ

		ろですので、今の時点で何年度にというのはお伝え出来ない状況ではあります。
2-2	いつまでには、ここまでには検討される、判断されるというのがあればお教えいただきたいです。	あえてというところで、確定ではなく、前倒し、後ろ倒しということもありますが、推計上は令和 12、13 年度とは考えております。
3-1	児童館を新設する予定はないとのことでしたが、共働きの世帯にとって児童館は生命線だと思うんですが、今後どのように考えていくのかっていうのを説明していただければと思います。	現在は新設校に公設公営の児童館を設置することは考えていないということばきいております。理由としては、3つの小学校で合計 16 程度の民間の児童クラブの送迎が行われているということで、こども部としてはまずは民間の申請状況を踏まえると、そちらのほうを活用できないかと考えているとのことですが、ただし、同様のお声を九重小学校でもいただいておりますので、ご意見や新設のご要望を持ち帰って、きちんと伝えてまいりますのでよろしくお願いいたします。
3-2	利用できる民間の児童クラブについてもリストアップしてホームページ上にあげていただけると探しやすいと思いますのでよろしくお願いいたします。	共有させていただきます。
4	新設校に通った場合は、公営の児童クラブにはもう通えないということでしょうか。それとも現在ある公営の児童クラブまで歩いていくということでしょうか。それとも民間の児童クラブを使ってくださいということでしょうか。	現在ある児童館を利用することはできると思いますが、実際には距離的には離れておりますので、そのあたりは市としても課題だとは思いますが、九重小学校でも同様の質問がございましたが、これ以上の回答というのが、こども部の所管になってしまいますので、いただいたご質問は持ち帰って、こども部の方に伝えまして、回答するようにしたいと考えております。

5	開校準備委員会の保護者代表はどのように選ばれるのでしょうか。 また、校舎の土地が谷埋盛土なのでそのあたりについて安全は考慮されているのかをお伺いします。	開校準備委員会の委員については、各小学校から校長先生含め3名程度の先生と、学校やPTA等と相談しながら保護者の方にも参加いただき、各校5名程度、合計15名程度で委員会を設立したいと考えております。 校舎については、避難所としても利用する可能性があるなかで、支持基盤まで基礎は打ち込みまして安全な設計になっておりますのでご理解いただければと思います。
6-1	児童館について本日は回答が出ないことはわかりましたので、今後、市と保護者の間でコミュニケーションをとっていく方法とか機会があるのかを教えてください。	市としてどう対応するかについてはお答えしていきたいところではありますが、実際に進めるのがこども部であるため具体的にいつやるかなどは即答できません。やれる方向で考えていきたいと思います。
6-2	保護者としてはつくば市のなんらかの発表を待つということでしょうか。	まずはいただいたご意見について回答できるようにしていきたいとは思っています。
7	栄小学校のプールも老朽化が進んでいることありますので、新設校のプールはみどりののプールみたいに共用プールにできないかご考慮いただければと思います。	今回は新設校のプールということでほかの学校と共用して使う予定はございません。老朽化したプールについては、都度対応していきたいと考えております。

3 日時：令和6年(2024年)5月26日10時～

会場：栗原小学校

	ご意見・ご質問	回答
1	新しい学校を含めて4つの小学校から中学校へ進学した場合、桜中学校のキャパシティや改修予定があれば教えてください。	生徒増による増築や老朽化による改修が必要になった場合に桜中学校は国指定の史跡内にあるため増改築ができません。北側に中学校用地を確保していますのでそちらへ移転する予定です。建物の老朽化の状況や生徒増の状況を注視しながらということですが、現時点でいつにしますとはっきりといえないところです。生徒増の状況を見込みますと令和12年、13年頃が想定されます。
2	栗原地区の新設校への柔軟な対応というのは、具体的にどういったものか。説明の中では学区外申請とあったが、それは申請を出せば必ずOKしてくれると認識しましたが問題ないか。 また、柔軟に対応するという期間はずっと続いていくのか、それとも最初の1、2年で終わってしまうものなのか教えてください。	他の自治体の例になるが小規模校での教育に不安を感じるということを理由に教育的な配慮をするということを学区外就学の許可基準に定めている自治体もあります。つくば市としてもそういった事例を参考にしながら検討していますので、現段階ではお話しいただいた認識で正しいと思っています。学区外就学で対応する期間については、これから検討するところですが、基本的には一定の期間を許可することで考えています。
3	通学路について、栗原地区については学区外就学ということで通学路はないということでしょうか。また、登下校につくバスを利用する場合、下坪から出ているつくバスでは登校時間に間に合わないのが、ダイヤなので改正してほしい。台坪周辺も長距離を1人、2人で歩くことになってしまうので、将来的なところも含めて、バス通学ができるように検討してほしい。	栗原地区から新設校への通学路については、教育局の方でも想定・検討していきたいと考えています。つくバスに関する意見については担当部署に共有しておきます。

4	新設校が開校した際に栗原地区の子どもがどちらへ就学するか就学申請の前にアンケート等で調査はするのか。説明会はいつも大人だけで行われているので、実際に通うことになる子どもたちを対象とした説明会は開催されないのか。	令和7年9月に条例により学校を設置し、通学区域の設定を行うのが令和7年10月頃を想定しており、アンケートするタイミングとしてはその後の11月頃となりますが、アンケートの実施については今後検討していきたいと考えています。また、子どもたちへの説明会についてはそういった意見があったことを教育局・学校と共有したうえで、開催の可否について検討していきます。
5	新設校の敷地に学童施設を設置する予定はあるのか。現状、公設公営のものがいないため、あると助かります。	こども部からは現段階では新設しないという話を聞いています。ただ、九重小や栄小での説明会でも児童クラブに関する質問が多くありましたので、いただいた声についてはこども部に伝えます。
6	小規模校になった場合、今ある支援学級はどうなるのか。新設校への通級になるのか。また、小規模校ならではの教育を謳っているということはその専門分野の先生が在籍するのか。 新設校について令和8年度で全体の児童数が500人以上想定している中で、支援級をどれくらい想定してあるのか。	栗原小学校の支援学級については、対象の児童生徒がいる場合には、支援学級も存続します。教師の専門性については、「探究的な学びの実現」や自由進度学習等は市内全校で進めるべく、教育委員会から話をしたり研修を実施したりしているところです。市内のどこの教員が栗原小学校へ配属されても対応できるようになるという想定で進めています。 教室のキャパシティの話ですと普通教室として24、特別支援教室として5、フリースクールとして1、多目的室として7、ワークスペースとして6、その他特別教室があります。教室は転用可能なつくりになっていますので、支援学級が増えた場合でも通常級の児童が増えた場合でもキャパシティについては問題ないと考えています。
7	駐車スペースはどれくらいを確保しているのか。	敷地内全体で約120台分、保護者用には約50台分スペースを用意しています。

8	車の出入り口について、出入り口は西口だけなのでしょうか。交差点も近いのでごちゃごちゃしてしまう可能性もあると思います。	今の計画では南側の2箇所からの出入り口のみです。交差点からは数十メートル離れているので問題ないかと考えています。将来的には北側に中学校が隣接する予定なので、今後も検討しますが、今のところ出入り口はこの2箇所です。
9	学区外申請は従来、理由を記入すると思いますが、栗原地区から新設校へ通う場合には理由を問わずということでもいいのか。	おっしゃっていただいた通りの認識で進めていきたいと考えています。
10	栗原小学校と新設校のコミュニケーション等はどういったものがあるのでしょうか。	行事での交流やつくばスタイル科をはじめとした授業でのオンラインを通しての交流は先生方同士で模索していただきながら連携を深めていければと考えています。以前のを例にあげると、宿泊を伴う校外学習などは桜学園で実施していた経緯もあります。ゆくゆくは同じ中学校へ通うということなので、少しでも人間の関係性というところに配慮しながら進めていければと考えております。
11	新設校の立地なんですが、急な山、谷があると思いますが、特別教室があるあたりが等高線を見ると狭い、急な斜面になっているんですが、このあたりの安全対策などをお伺いしたいです。	安全対策について、建物については支持地盤は30、40メートルは杭を打っているので建物はそういった形で安心安全な作りになっています。急斜面のことについてはフェンスで囲って子どもたちがそちらへ行かないような対応を考えています。